

# すこやか ちゃん



**大和ちゃん** (平成16年6月5日生)  
両親／深堀清・優美さん〔二〕  
「大好きなトラクター♡  
毎日乗っても飽きないよ！」



**心菜ちゃん** (平成17年10月31日生)  
両親／戸葉章弘・千尋さん〔米込〕  
「ここたん、一番いい顔♡」



**寿里奈ちゃん** (平成17年10月25日生)  
両親／山中啓一郎・光江さん〔飯岡〕  
「お散歩大好き！  
毎日お天気だといいな。」

### \* すこやかちゃんを募集しています \*

掲載ご希望の方は、秘書広報課広報広聴班 (〒289-2595旭市二の1920・☎62-8070) へ。  
対象は、小学校入学前の幼児です。申込用紙は、保健センター、海上保健センター、飯岡保健センター、干潟保健センター、秘書広報課にあります。



## 紙上展示室 — 旭モノ語り — 第十四回

# 倉橋の稲荷神社

「伊勢屋、稲荷に犬の糞」という江戸時代のことわざがあります。これは当時の江戸名物を風刺したもの。現在でも、稲荷社は全国に三万以上、屋敷神や家の神棚で祀られているものも含めれば、その数は数万にのぼるといわれています。稲作から、商売の神様にも祀りあげられ、庶民にもっとも親しまれ、広く支持された神社、それがお稲荷さんです。

旭市内にも神社、祠、氏神など数え切れないほどのお稲荷さんが存在します。その一つ、倉橋の稲荷神社をご紹介します。

地域の中心に位置する高台に建っている本殿、奉納されている稲荷大神立像、蔵王権現立像はいずれも市指定文化財になっている貴重なものです。さて、お稲荷さんの使いといえは、そう皆さんご存じ、キツネです。ここでも二匹のキツネがお出迎えます。「慶応二年(一八六六年)生まれ、前足などの破損が目立ちますが、まだまだ現役、足元にトレッドマークの宝珠(火炎の玉)を抱えた、ちよつと愛らしい造形をした使神(みさきがみ)が向かい合っています。ふつくらとしたしつぽは、たわわに実った稲穂だといわれています。この神社は、先ごろ二百六十年



▲倉橋の稲荷神社

ぶりに社殿の大改修が行われました。これを記念して今月十五日には御開帳が予定されています。また、これに合わせて弥勒三番叟が奉納されます。これは、本来ならば二十年ごとに行われる東大社、雷神社、豊玉姫大神社の御神幸のときにしか演じられることがないもの。旭を代表する民俗芸能の一つで、県指定文化財となっています。ちなみに今回は平成二十二年秘仏と三番叟がいつべんにそろうのには、また何百年かを待たなくてはなりません。この貴重な瞬間、お見逃しなく。

もちろん、おやつには「おいなりさん」をおすすめします。  
〔大原幽学記念館 猪野映里子〕

## 編集後記

今日は防災の日、大正12年9月1日に起きた関東大震災の教訓を忘れない、という意味と、この時期多い台風への心構えの意味で制定されたことは、ご存知のとおりです。ところで「災害は忘れた頃にやってくる」とはよく言ったもので、かくいう私も何年か前の台風では3日間も停電して非常に困ったのに、今ではすっかり忘れていたのですから始末に負えません。

おっと、こんなことを書く暇があったら防災用品を確認しなくちゃ。 (い)

## 暮らしのカレンダー

- 3日(日) 旭市総合防災訓練 (午前8時～ 旭中央病院)
- 9日(土) 中学校運動会 (一中・飯岡中)
- 16日(土) 中学校体育祭 (二中・海上中・干潟中)
- 小学校運動会 (干潟小・富浦小・矢指小・共三和小・豊畑小・鶴巻小・滝郷小・嚶鳴小)
- 川小・飯岡小・中和小)
- 小学校運動会および地区体育祭 (琴田小・萬歳小・古城小)
- 18日(月) 敬老の日・敬老大会
- 23日(土) 秋分の日



古紙配合100%再生紙と環境にやさしい大豆油インキを使用しています。